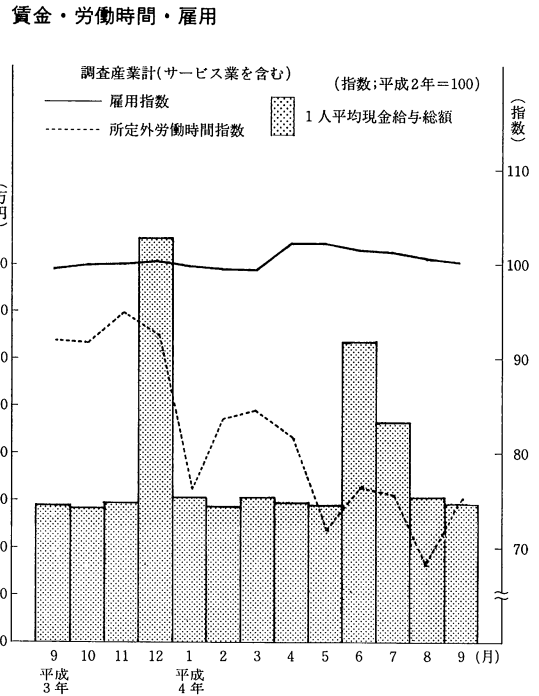
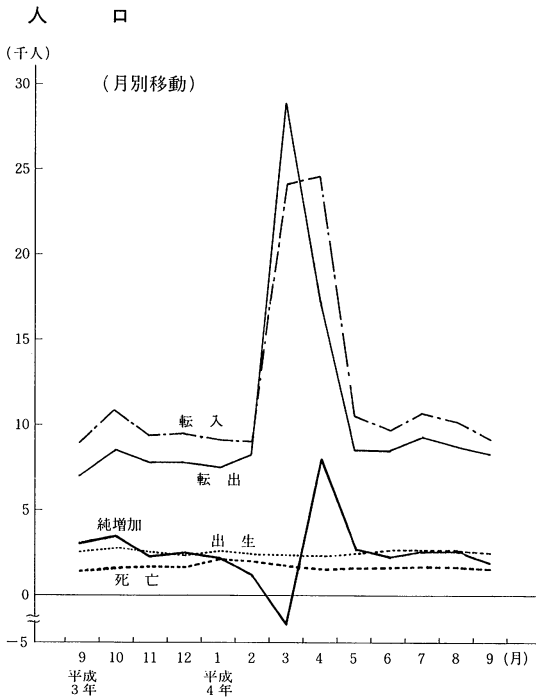
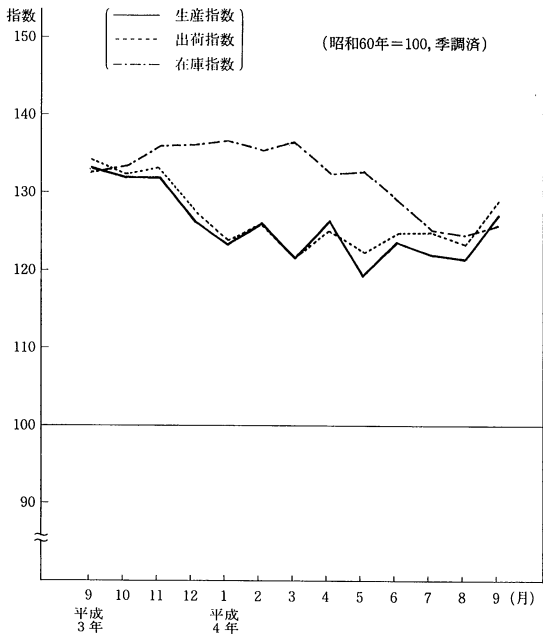


●今月の主な動き

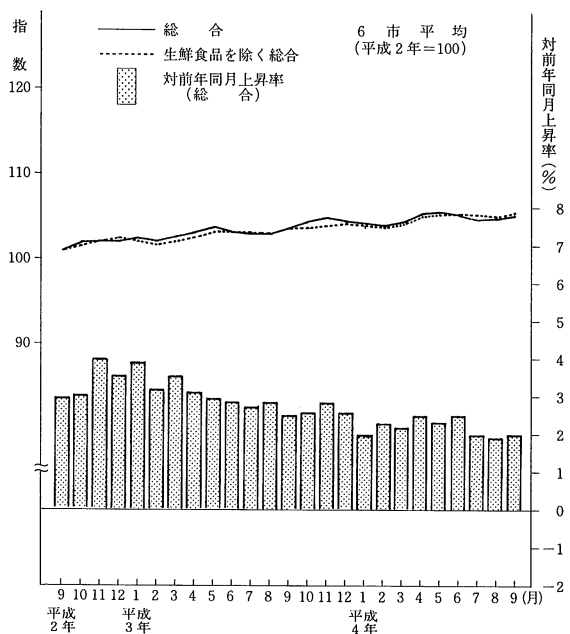
今月の主な動き



鉱工業指数(生産・出荷・在庫)



消費者物価指数



主な動きのあらまし……………企画部統計課

■人口(10月1日)

本県の人口は、9月中に1,757人増加し、10月1日現在で2,904,548人(男1,450,839人、女1,453,709人)となった。

内訳は、自然動態で1,028人(出生2,483人、死亡1,455人)増加し、社会動態で729人(転入9,092人、転出8,363人)増加した。前年同月と比べると27,306人(0.95%)の増加

である。

市町村別では、増加が15市44町村、減少が4市20町村、増減なしが1市3村である。

世帯数についても9月中に873世帯増加し876,328世帯となった。

■賃金・労働時間・雇用(9月)

1. 平均賃金の推移

9月の現金給与総額は、調査産業計で290,266円、対前年同月比0.7%増、このうち、きまって支給する給与は288,529円、対前年同月比1.7%増であった。また、このうち、所定内給与は262,520円、対前年同月比3.5%増であり、超過労働給与は26,009円、対前年同月比14.1%減であった。

なお、物価上昇分を差し引いた実質賃金は、対前年同月比0.6%減であった。

※この地方調査の結果は事業所規模30人以上です。なお、事業所規模5人以上の結果についての問合せにも応じます。

2. 労働時間

9月の総実労働時間は、調査産業計で165.7時間、対前年同月比4.4%減であった。このうち、所定内労働時間は151.1時間、対前年同月比2.8%減、所定外労働時間は、14.6時間、対前年同月比18.0%減であった。

3. 雇用の動き

9月の雇用の動きを常用雇用指数によってみると、対前年同月比0.8%増であった。

■鉱工業指数<生産・出荷・在庫>(9月分)

本県における平成4年9月の“鉱工業指数”(昭和60年=100)は、季節調整済指数で、生産が127.6、出荷が129.2、在庫が126.4で、前月比は、生産が5.2%の上昇、出荷が4.7%の上昇、在庫が1.2%の上昇であった。

前年同月比(原指数)は、生産が△4.1%の低下、出荷が△2.8%の低下、在庫が3.3%の上昇であった。

業種別に前月比をみると生産では、鉱業、非鉄金属工業、金属製品工業等が上昇し、その他工業、窯業・土石製品工業、食料品・たばこ工業が低下した。出荷では、石油・石

炭製品工業、非鉄金属工業、金属製品工業等が上昇し、その他工業、繊維工業、鉱業等が低下した。在庫では、鉱業、一般機械工業、パルプ・紙・紙加工品工業等が上昇し、輸送機械工業、精密機械工業、鉄鋼業等が低下した。

特殊分類別にみると生産では、資本財、その他用生産財等が上昇し、耐久消費財、建設財が低下した。出荷では、その他用生産財、建設財等が上昇し、耐久消費財が低下した。在庫では、資本財、非耐久消費財等が上昇し、その他用生産財、建設財等が低下した。

■消費者物価指数(9月)

平成4年9月の茨城県消費者物価指数(6市平均)は、総合で105.5(平成2年=100)となり、前月比0.6%の上昇、前年同月比2.0%の上昇となった。

今月の上がった主な項目……シャツ・下着11.5%、衣料

9.2%、生地・他の被服類3.5%、野菜・海草3.3%、乳卵類2.5%

今月の下がった主な項目……魚介類3.8%、肉類1.7%、調理食品1.2%

生鮮食品を除く総合は105.8となり、前月比は0.6%の上

昇、前年同月比は2.2%の上昇となった。

費目別指数

(平成2年=100)

区 分	指数	上昇率(%)		区 分	指数	上昇率(%)	
		対前月	対前年同月			対前月	対前年同月
総合	105.5	0.6	2.0	保健医療	102.3	0.0	2.3
食料	105.4	△0.3	1.3	交通通信	99.6	0.0	△0.8
住居	110.3	0.1	6.0	教育	106.1	0.3	3.4
光熱・水道	102.9	0.0	0.6	教養娯楽	107.5	△0.6	3.5
家具・家事用品	101.5	0.7	0.5	諸雑費	103.5	0.0	2.1
被服及び履物	109.9	7.9	0.8	生鮮食品を除く総合	105.8	0.6	2.2